



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月28日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <https://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 義昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 平澤 秀明 (TEL) 03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第3四半期 | 65,225 | 10.0 | 6,433 | 19.2 | 6,781 | 20.2 | 4,767 | 14.7 |
| 2018年3月期第3四半期 | 59,290 | 7.4 | 5,398 | 19.6 | 5,641 | 18.3 | 4,154 | 23.4 |

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 4,018百万円(△9.0%) 2018年3月期第3四半期 4,415百万円(ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第3四半期 | 58.48 | 58.39 |
| 2018年3月期第3四半期 | 50.58 | 50.48 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年3月期第3四半期 | 106,346 | 80,081 | 75.1 |
| 2018年3月期 | 103,667 | 77,510 | 74.6 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 79,905百万円 2018年3月期 77,383百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | ー | 6.00 | ー | 6.00 | 12.00 |
| 2019年3月期 | ー | 8.00 | ー | | |
| 2019年3月期(予想) | | | | 8.00 | 16.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|--------|-----|-------|-----|-------|------|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 83,000 | 4.6 | 7,700 | 6.8 | 8,000 | 10.0 | 5,700 | 4.5 | 69.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2019年3月期3Q | 82,623,376株 | 2018年3月期 | 82,623,376株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期3Q | 1,417,052株 | 2018年3月期 | 1,022,252株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2019年3月期3Q | 81,519,784株 | 2018年3月期3Q | 82,141,037株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな景気拡大基調が続きましたが、保護主義的な経済政策の台頭やそれに伴う通商摩擦の懸念が増大するなど、先行きに不透明感が生じました。米国では輸出が減少する傾向がみられたものの、雇用環境改善が継続し、個人消費も底堅く推移しました。欧州では内需は底堅さを維持したものの、一部の国の政治不安拡大などにより景気減速の兆しが見られました。また、アジアにおいては、全体としては景気は底堅く推移したものの、中国での景気減速が顕在化し始めました。日本経済は、景気先行きに警戒感が始めているものの、企業の輸出、生産活動、設備投資が堅調に推移し、個人消費も底堅く、緩やかな景気回復が続きました。

当社グループ関連の事業環境につきましては、半導体業界の活況が継続し、自動車関連分野の需要も順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を継続的に展開し、生産・供給体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は652億25百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は64億33百万円（前年同期比19.2%増）、経常利益は67億81百万円（前年同期比20.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億67百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、自動車関連入力デバイスを中心に順調な出荷が続き、全体として売上げは前年を上回りました。

主力の入力デバイスは、自動車電装スイッチの種類や搭載車種の増加により、キースイッチとタッチスイッチの出荷が好調に推移しました。また、薄型ノートパソコン用タッチパッドは、従来製品の出荷が終息する中、新規製品が立ち上がりました。ディスプレイ関連製品は、液晶接続用コネクタが低調でしたが、視野角制御フィルム（VCF）は新規の光学用途製品の売上げが加わって伸びました。コンポーネント関連製品は、電子部品検査用コネクタがスマートフォン用部品の需要回復により出荷が伸びました。

この結果、当事業の売上高は156億85百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は11億34百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器の出荷が好調に推移し、全体として売上げは前年を上回り、利益も伸びました。

半導体関連容器は、半導体業界の旺盛な需要を背景に300mmウエハー用及び小口径ウエハー用製品の高水準な出荷が継続し、売上げを大きく伸ばしました。OA機器用部品は、主力のレーザープリンター用現像ローラの需要が伸びず、売上げは前年を下回りました。キャリアテープ関連製品は、高級スマートフォン用電子部品の需要回復があったものの、売上げは横ばいでした。シリコンゴム成形品は、主力の医療関連製品が堅調に推移して、売上げを伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は283億45百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は45億3百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、塩ビ関連製品の市場環境が非常に厳しい中、価格改定や生産効率化に努める一方、新規事業製品の拡販を推し進めて、全体として売上げは前年を上回り、利益も大きく伸ばしました。

ラッピングフィルムなどの包装資材関連製品は、食品スーパーマーケット向けの価格改定ができたものの、外食産業向けの価格改定が進捗せず、また、全体的に出荷が振るわず、売上げは前年並みでした。塩ビパイプ関連製品は、市場競争が激しい中、一部の価格改定ができましたが、出荷量が伸びず、売上げは横ばいでした。機能性コンパウンドは、自動車用の需要に若干の減速感が現れたものの、ロボットケーブル用が好調な出荷を継続して、売上げを伸ばしました。外装材関連製品は、市場低迷ながら特需もあり、新規取引先への拡販、価格改定、製品ラインナップ拡充により、売上げを伸ばしました。新規事業製品である導電性ポリマーは、帯電防止剤用途や電子部品用途で大きく伸長しました。

この結果、当事業の売上高は154億2百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は5億34百万円（前年同期比

115.5%増) となりました。

④ その他

工事関連では、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が増え、全体として、売上げは伸びました。

この結果、その他の売上高は57億91百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益は2億60百万円（前年同期比93.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月24日に公表いたしました2019年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 43,107 | 42,243 |
| 受取手形及び売掛金 | 19,358 | 22,047 |
| 電子記録債権 | 2,909 | 3,355 |
| 商品及び製品 | 6,494 | 5,873 |
| 仕掛品 | 1,341 | 1,841 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,759 | 3,174 |
| 未収入金 | 1,677 | 1,342 |
| その他 | 514 | 463 |
| 貸倒引当金 | △350 | △417 |
| 流動資産合計 | 77,813 | 79,925 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,780 | 8,407 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,928 | 5,533 |
| 土地 | 6,715 | 6,677 |
| 建設仮勘定 | 2,470 | 1,138 |
| その他（純額） | 1,305 | 1,531 |
| 有形固定資産合計 | 22,200 | 23,288 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 102 | 108 |
| その他 | 72 | 69 |
| 無形固定資産合計 | 174 | 177 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,221 | 987 |
| 繰延税金資産 | 1,267 | 1,062 |
| その他 | 989 | 906 |
| 投資その他の資産合計 | 3,478 | 2,955 |
| 固定資産合計 | 25,854 | 26,421 |
| 資産合計 | 103,667 | 106,346 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 13,667 | 13,261 |
| 電子記録債務 | 1,258 | 2,248 |
| 短期借入金 | 0 | — |
| 未払金 | 3,187 | 2,372 |
| 未払法人税等 | 914 | 1,191 |
| 未払費用 | 2,323 | 2,711 |
| 賞与引当金 | 1,254 | 921 |
| 役員賞与引当金 | 37 | 38 |
| その他 | 1,511 | 1,778 |
| 流動負債合計 | 24,155 | 24,525 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,675 | 1,483 |
| その他 | 326 | 256 |
| 固定負債合計 | 2,001 | 1,740 |
| 負債合計 | 26,156 | 26,265 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,635 | 11,635 |
| 資本剰余金 | 10,718 | 10,718 |
| 利益剰余金 | 56,403 | 60,009 |
| 自己株式 | △1,033 | △1,367 |
| 株主資本合計 | 77,724 | 80,996 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 463 | 306 |
| 為替換算調整勘定 | △807 | △1,397 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2 | 0 |
| その他の包括利益累計額合計 | △341 | △1,091 |
| 新株予約権 | 127 | 176 |
| 純資産合計 | 77,510 | 80,081 |
| 負債純資産合計 | 103,667 | 106,346 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 59,290 | 65,225 |
| 売上原価 | 40,795 | 44,543 |
| 売上総利益 | 18,494 | 20,682 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,095 | 14,248 |
| 営業利益 | 5,398 | 6,433 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 197 | 276 |
| 為替差益 | 43 | 56 |
| その他 | 72 | 66 |
| 営業外収益合計 | 314 | 399 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 18 | 18 |
| 固定資産除却損 | 51 | 11 |
| 有価証券評価損 | — | 17 |
| その他 | 1 | 4 |
| 営業外費用合計 | 71 | 51 |
| 経常利益 | 5,641 | 6,781 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,641 | 6,781 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,301 | 1,810 |
| 法人税等調整額 | 185 | 203 |
| 法人税等合計 | 1,486 | 2,013 |
| 四半期純利益 | 4,154 | 4,767 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,154 | 4,767 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,154 | 4,767 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 101 | △157 |
| 為替換算調整勘定 | 159 | △590 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | △1 |
| その他の包括利益合計 | 260 | △749 |
| 四半期包括利益 | 4,415 | 4,018 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,415 | 4,018 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|--------------|--------|------------|-----------------------|
| | 電子デバイス | 精密成形品 | 住環境・ 生活資材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,709 | 25,446 | 14,082 | 54,239 | 5,050 | 59,290 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 14,709 | 25,446 | 14,082 | 54,239 | 5,050 | 59,290 |
| セグメント利益(営業利益) | 1,177 | 3,838 | 248 | 5,264 | 134 | 5,398 |

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|--------------|--------|------------|-----------------------|
| | 電子デバイス | 精密成形品 | 住環境・ 生活資材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,685 | 28,345 | 15,402 | 59,433 | 5,791 | 65,225 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 15,685 | 28,345 | 15,402 | 59,433 | 5,791 | 65,225 |
| セグメント利益(営業利益) | 1,134 | 4,503 | 534 | 6,173 | 260 | 6,433 |

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。